

インフォメーション・エコノミー：情報化する経済 社会の全体像

篠崎，彰彦
九州大学大学院経済学研究院：教授

<https://hdl.handle.net/2324/4488770>

出版情報：pp.1-279, 2014-03. NTT出版
バージョン：
権利関係：

インフォメーション・エコノミー——情報化する経済社会の全体像▼目次

序 章

最新動向を読み解く基本概念は何か

——本書のねらいと構成

情報革命の波に乗る「羅針盤」を求めて 002

第 1 章

情報経済学の基礎で現在を考える

——純粋な市場から現実の市場へ

- 5 ステイグラーに学ぶ価格比較サイトの威力 010
- 4 アカロフに学ぶ食品の安全問題 019
- 3 逆選択の罠からMade in Japanを救う 028
- 2 情報の非対称性から派生する概念 037
- 1 生産的情報とロスチャイルド家の伝説 047

第 2 章

情報化社会はどう展望されてきたか

——未来論から現実論へ

1 気宇壮大な発想の情報化社会論 060

2 21世紀を予見したユニークな発展段階論 065

3 情報財の特殊な性質——立ち読みお断りと坊主丸もうけ 072

4 産業の情報化と情報の産業化 083

5 情報化すれば経済は停滞する？ 091

第 3 章

生産性論争とは何か

——ソロー・パラドックスとニュー・エコノミー論

1 ソロー・パラドックスとは何か 100

2 解消に向かうパラドックス 105

3 暴走するニュー・エコノミー論 110

4 生産性論争の結末はどうなったか 114

なぜ情報が問題になるのか

— 分業のメリットとデメリット

- 1 ロビンソン・クルーソーの冒険物語で考える 120
 比較優位に基づく分業はいつでも有効か 126
 2 トレードオフ関係にあるコミュニケーション費用 132
 3 効果のない仕事をITで効率化するムダ 137

コースの法則で企業改革を考える

— 「企業と市場」の境界に何が起きるか

- 1 アウトソーシングの限界とは 144
 2 なぜアウトソーシングはなくならないのか 151
 3 コースの法則と情報化のインパクト 155
 4 ダウンサイジング、リストラ、リエンジニアはどう違うか 161

ネットワークの経済性とは何か

— 情報化社会の企業組織と産業組織

1 経済性の基本4概念を考える 168

2 なぜ多様なスタートアップ企業群が勝るのか 174

3 社外の活力を活かす連携の経済性 183

4 イノベーション時代にふさわしい組織構造とは 193

なぜ制度改革が求められるのか

— 技術革新を受け入れる仕組み

1 情報化が照らし出す市場のもう1つの顔 204

2 情報化はなぜ制度改革を迫るのか 209

3 スピード感が違う技術変化と制度変化 215

4 業界慣行というインフォーマルな制度の力 219

5 グローバルな情報革命と世界の多様性 226

情報化は雇用にプラスかマイナスか

——技術と雇用と教育の関係

5	4	3	2	1
教育との連携によるエンプロイアビリティ向上	技術変化に伴う雇用の断層	雇用不安と所得格差の同時発生メカニズム	レイオフとパーマネント・ジョブ・ロス	情報化とグローバル化と雇用
259	254	250	244	236

おわりに 265

参考文献一覧 269

索引 (1)